

熱田小児科クリニック 掲示板

7月のテーマ

『みずぼうそう（水痘） おたふくかぜ（流行性耳下腺炎） について』

(医)熱田小児科クリニック「ひまわり」スタッフ

みずぼうそう（水痘）とは…

水をもった赤い発疹が、口の中から陰部、頭皮まで全身に出ます。発疹は、2～3日でピークとなり、その後乾いて黒いかさぶたになります。平均して1週間ぐらいでよくなります。

～治療～

かゆみ止めの塗り薬と飲み薬を処方します。化膿した時は抗菌薬入りの軟膏や飲み薬を処方します。症状によっては抗ウイルス薬を処方することもあります。

～家庭で気をつけること～

- ①かゆいけど…ひっかいてかきこわさないように爪は短くしておきましょう。
- ②お風呂は…お風呂でさっと汗を流しておくほうが、かゆみも少なく化膿することも少ないでしょう。
- ③食べ物は…口の中にできると痛いので、しみるもの（塩辛いもの、すっぱいもの）は嫌がるでしょう。特に食べてはいけない物はありません。

～こんなときは、もう一度診察を～

- ①発疹が赤く腫れて化膿した時
- ②ぼんやり、ぐったりしていて元気がないとき、頭痛、嘔吐がある時
- ③4日以上熱が続く時

おたふくかぜ（流行性耳下腺炎）とは…

耳の下（耳下腺）が腫れて痛がります。たいてい左右とも腫れますが、片側だけのこともあります。腫れは1週間程度でひきます。熱はだいたい3～4日くらいで落ち着くでしょう。

～治療～

- ・熱や痛みをおさえる薬を処方します。痛い時は冷湿布もよいでしょう。

～家庭で気をつけること～

- ①安静…合併症として髄膜炎や耳が聞こえにくくなったりすることがあります。
熱がなく元気でも、おとなしく過ごさせるようにして外出はやめてください。
- ②食べ物…すっぱいものや、よくかまなくてはいけない食べ物は避けましょう。よけいに痛くなります。痛みが強いときは、かまずに飲み込めるものを与えます。牛乳や味噌汁、スープ、プリン、ゼリー、おかゆ、とうふ、グラタンなどがよいでしょう。
- ③入浴…高い熱のあるときや痛みが強い時以外はかまいません。

～こんなときは、もう一度診察を～

- ①頭痛が強く、何回も吐くとき
- ②熱が5日以上続くとき
- ③耳の下の腫れが赤くなったとき